

拠出金名:海洋漂着ゴミ対策拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(外務省、国土交通省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				54,704千円(注1)	
国際機関等名		北西太平洋地域海行動計画 (英文名称・略称) Northwest Pacific Action Plan (NOWPAP)			
種 別		国連(事務局)		国連(基金・計画)	
所管官庁担当局課名		外務省国際協力局地球環境課			
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成20年度	6,129	54		1ドル = 113円	100
平成19年度	0	0		-	-
平成18年度	0	0		-	-
当該拠出金の目的・用途等		海洋漂着ゴミ対策における人材育成のためのワークショップ開催			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政(注2) (2008年度決算)	
	国 名	金額 (ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入 87,098ドル	
1位	日本	54,240	100.0	当該年度の支出 87,098ドル	
2位				次年度への繰越 0ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				国連会計検委員会	
5位				(UN Board of Auditors)	
(現在の構成員の出身国:南ア、仏、中)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)は、日本、中国、韓国、ロシアの4か国による連携の枠組みであり、日本海及び黄海における海洋環境の保護のための各種の活動を行っている。近年、日本の海岸における漂流・漂着ゴミ問題が深刻となっているが、近隣諸国からのゴミも多いため、これらの国を巻き込むNOWPAPの取組を我が国として特に支援することは、我が国の漂流・漂着ゴミ対策としても有効である。なお、NOWPAPは、4か国による枠組みであるため、我が国の意見は比較的反映しやすい。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
NOWPAPは、2007年と2009年に外部コンサルタントによるパフォーマンス・レビューを実施するなど、事務局の調整機能の強化や合理化などを進めてきており、我が国としても、NOWPAPの機能強化により4か国の協力を実効的なものとするための方策として、これを支持している。					
邦人職員数 うち幹部以上	3人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	7人 43%		
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
我が国は、韓国とともにNOWPAP事務所を誘致したことから(富山事務所及び釜山事務所)、NOWPAPの重要ポスト(調整官及副調整官)に邦人職員を送り込むことは困難である(現在は、ロシア、中国からの職員がそれぞれのポストを占めている)。					

(注1)これ以外に、日本海難防止協会が300,000ドルを拠出している。

(注2)当該拠出金の目的であるワークショップの開催に関する決算